

ダンゴムシのひみつ

3年 説明文 1番

名前

石やうえきばちの下を見ると、まるくなった小さな虫がいることがあります。ダンゴムシです。みなさんは、ダンゴムシのことを、どれくらい知っていますか。

じつは、ダンゴムシはこん虫ではありませんせん。あしの数を数えると、こん虫は六本ですが、ダンゴムシは十四本もあります。ダンゴムシは、エビやカニと同じなかなのです。だから、しめった所が大すきで、日なたのかわいた場所にはあまりいません。

ダンゴムシには、身を守るためのすごいわざがあります。てきに出会ったり、さわられたりすると、体をくりとまるめて、かたいボールのようになります。こうすると、やわらかいおなかをかくすことができ、鳥やほかの虫に食べられにくくなるのです。

さらに、ダンゴムシは、森や庭でとても大切なはたらきをしています。地面に落ちた葉っぱや、かれ木を食べて、細かいふんにするので、そのふんは土をよくします。ダンゴムシは、しぜんのそうじやさんともいえます。

このように、小さなダンゴムシにも、たくさんひみつがあります。今ダンゴムシを見つけたら、そっと手に乗せて、そのようすをかんさつしてみましょう。きっと、新しいはつけんがあるはずです。

(1) ダンゴムシがこん虫ではないと言えるのは、なぜですか。文しよの言葉を使って書きましょう。

(2) ダンゴムシは、どんな所が大すきですか。正しいものを一つえらびましょう。

ア 日なたのかわいた場所

イ しめった所

ウ 風の強い場所

エ 水の中

(3) ダンゴムシは、てきに出会うとどうやって身を守りますか。文しよから書きぬきましょう。

(4) 「しぜんのそうじやさん」とは、ダンゴムシのどんなはたらきのことですか。かんたんに書きましよう。

(5) 「かんさつ」の意味として、正しいものを一つえらびましょう。

ア 大きな声でよぶこと

イ ようすをよく見て調べること

ウ じめんにうめること

エ 友だちにあげること

書き方のヒント

「ゝを食べて、ゝする」のように、はたらきを短くまとめよう。

文しよの言葉を見つけて使おう。

ダンゴムシのひみつ

解答

3年 説明文 1番

名前

石やうえきばちの下を見ると、まるくなった小さな虫がいることがあります。ダンゴムシです。みなさんは、ダンゴムシのことを、どれくらい知っていますか。

じつは、ダンゴムシはこん虫ではありませんせん。あしの数を数えると、こん虫は六本ですが、ダンゴムシは十四本もあります。ダンゴムシは、エビやカニと同じなかなのです。だから、しめた所が大すきで、日なたのかわいた場所にはあまりいません。

ダンゴムシには、身を守るためのすごいわざがあります。てきに出会ったり、さわられたりすると、体をくりとまるめて、かたいボールのようになります。こうすると、やわらかいおなかをかくすことができ、鳥やほかの虫に食べられにくくなるのです。

さらに、ダンゴムシは、森や庭でとても大切なはたらきをしています。地面に落ちた葉っぱや、かれ木を食べて、細かいふんにするので、そのふんは土をよくします。ダンゴムシは、しぜんのそうじやさんともいえます。

このように、小さなダンゴムシにも、たくさんひみつがあります。今ダンゴムシを見つけたら、そっと手に乗せて、そのようすをかんさつしてみましょう。きっと、新しいひみつがあるはずです。

(1) ダンゴムシがこん虫ではないと言えるのは、なぜですか。文しよの言葉を使って書きましょう。

(例) こん虫のあしは六本だが、ダンゴムシのあしは十四本あるから。

(2) ダンゴムシは、どんな所が大すきですか。正しいものを一つえらびましょう。

ア 日なたのかわいた場所

イ しめた所

ウ 風の強い場所

エ 水の中

(3) ダンゴムシは、てきに出会うとどうやって身を守りますか。文しよから書きぬきましょう。

体をくりとまるめて

(4) 「しぜんのそうじやさん」とは、ダンゴムシのどんなはたらきのことですか。かんたんに書きましよう。

(例) 落ちた葉やかれ木を食べて細かいふんにし、土をよくするはたらき。

(5) 「かんさつ」の意味として、正しいものを一つえらびましょう。

ア 大きな声でよぶこと

イ ようすをよく見て調べること

ウ じめんにうめること

エ 友だちにあげること

書き方のヒント

「ゝを食べて、ゝする」のように、はたらきを短くまとめよう。

文しよの言葉を見つけて使おう。

解答・解説 ダンゴムシのひみつ（3年・説明文）

問1 （例） こん虫のあしは六本だが、ダンゴムシのあしは十四本あるから。

二つ目の段落に、あしの数のちがいが書かれています。「六本」と「十四本」をくらべて書けていれば正かいです。エビやカニのなかまである点にふれてもよいです。

問2 イ

二つ目の段落の終わりに「しめった所が大すきで」とあります。エビやカニのなかまなので、かわいた所は苦手です。

問3 体をくるりとまるめて

三つ目の段落の「体をくるりとまるめて、かたいボールのようになります」から書きぬきます。やわらかいおなかをかくすためです。

問4 （例） 落ちた葉やかれ木を食べて細かいふんにし、土をよくするはたらき。

四つ目の段落から読み取ります。ダンゴムシが「食べて」「土をよくする」ことをまとめられていれば正かいです。

問5 イ

「かんさつ」は、ものごとのようすをよく見て調べることです。理科の学しゅうでもよく使う言葉です。